Techno Report

～ テクノレポート ～

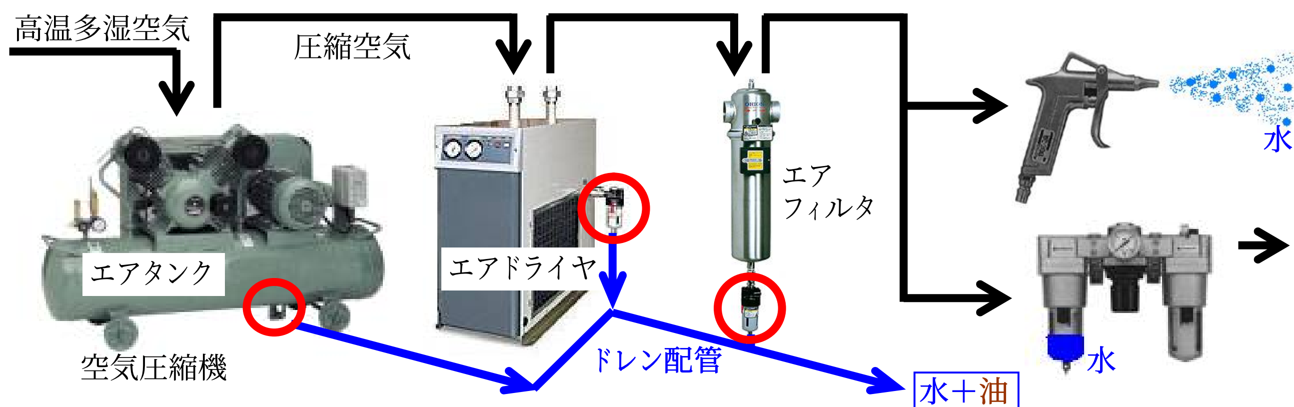
No. 67

夏は気温が高く、湿度も高いために、空気圧縮機で作り出す圧縮空気中のドレン(水分)発生量が多くなります。このドレンを排出するために、各機器にドレントラップをつけていますが ドレン排出量の増加による作動回数増加や夏季連休での通常より長い設備停止もありますので、トラブル発生の危険が増加します。このドレントラップ故障が直ちに設備停止となるものではありませんが、気付いた時には製品不良などを誘発してしまいます。

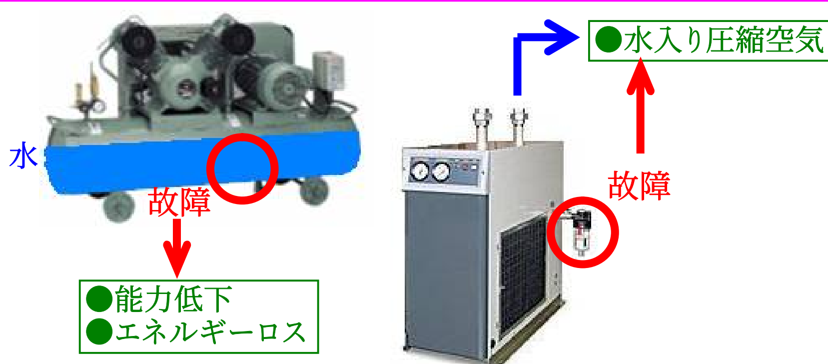
トラブル予防としてこのドレントラップを、取扱説明書に基いて分解清掃されてはいかがでしょうか。

高温多湿のこの時期に、空気圧縮機のオートドレントラップを清掃しましょう

オートドレントラップとは？



オートドレントラップが故障すると



オートドレントラップの修理は？

●分解前に
内部の圧縮空気を抜く。
●分解清掃（汚れ落し）

取扱説明書に基づいて
安全に作業してください。

空気圧縮機の吸入空気温度が上がるとどうなるの？

空気圧縮機1サイクル当りの吸入空気量を、夏（空気温度 37℃）と冬（空気温度 7℃）で比較すると、気体の状態方程式（PV=nRT）から 夏の吸入空気量は冬に比べて、(273＋7゜k)÷(273＋37゜k)=0.90 と9割に低下します。故障予防と吸入効率ロスの軽減の為に吸入空気の温度を下げましょう。

TECHNO REPORT（テクノレポート） No.６７ 2007年08月10日発行

発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会 編集：下城 都木

〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-363-1922 問合せ先：ＣＳ部／戸塚 都木
太田支店 TEL 0276-46-1348 埼玉営業所 TEL 049-279-3011
URL：http://www.fujita-tec.co.jp MAIL: m-takagi@mail.fujita-tec.co.jp （メール配信ご希望の方はこちらまで）